

■ 事後評価（社会資本総合整備計画）

高速道路の休憩施設を拠点とした地域の活性化、
賑わいの再生づくり

計画の名称	1 高速道路の休憩施設を拠点とした地域の活性化、賑わいの再生づくり		
計画の期間	平成30年度 ~ 令和4年度 (5年間)	交付対象	香川県
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> SAを賑わいの拠点として有効活用するため、近くに駐車場を整備し、一般道から駐車場までの誘導がしやすいようにアクセス道としての道路改良やSAのウェルカムゲートを設置し、集客増加を目指す。 		

1. 事業効果の発現状況 : 一定の効果があった

- ・従前に比べ、SA周辺へアクセスしやすい環境整備ができ、ウェルカムゲートを設置したことで、一般道側からもSAへの来客を見込めるようになった。

計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> SAの利用客数の増加を調査する。 SAの物販の売上額を調整する。 		
定量的指標の定義及び算定式			

	定量的指標の現況値及び目標値			達成率	備考
	当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末) (R5末)		
SAの利用客数の増加	2,700 人/日	2,800 人/日	2,900 人/日 3,000 人/日	150.0%	(3,000-2,700)/(2,900-2,700)×100=150.0%
SAの物販の売上額の増加	1,195 百万円/年	1,240 百万円/年	1,285 百万円/年 1,295 百万円/年	111.1%	(1,295-1,195)/(1,285-1,195)×100=111.1%
全体事業費	合計 (A+B+C)	140百万円	A 140百万円 B 百万円 C 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.00%
実施事業費	合計 (A+B+C)	125百万円	A 125百万円 B 百万円 C 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.00%
				進捗率 (事業費ベース)	89%

交付対象事業																	
A 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	市町名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	実施事業費 (百万円)	進捗率	備考
									H30	H31	R2	R3	R4				
A-01-001	道路	一般	さぬき市	直接	さぬき市	市道隠谷15号線外1線	道路拡張等	さぬき市						140	125	89%	
									小計 (道路事業)					140	125	89%	
B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	実施事業費 (百万円)	進捗率	備考
									H30	H31	R2	R3	R4				
C 効果促進事業 (該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	実施事業費 (百万円)	進捗率	備考
									H30	H31	R2	R3	R4				
その他関連する事業 (該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	市町名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	実施事業費 (百万円)	進捗率	備考
									H30	H31	R2	R3	R4				

要素事業の事業進捗
計画通り進捗

2. 今後の方針
完了

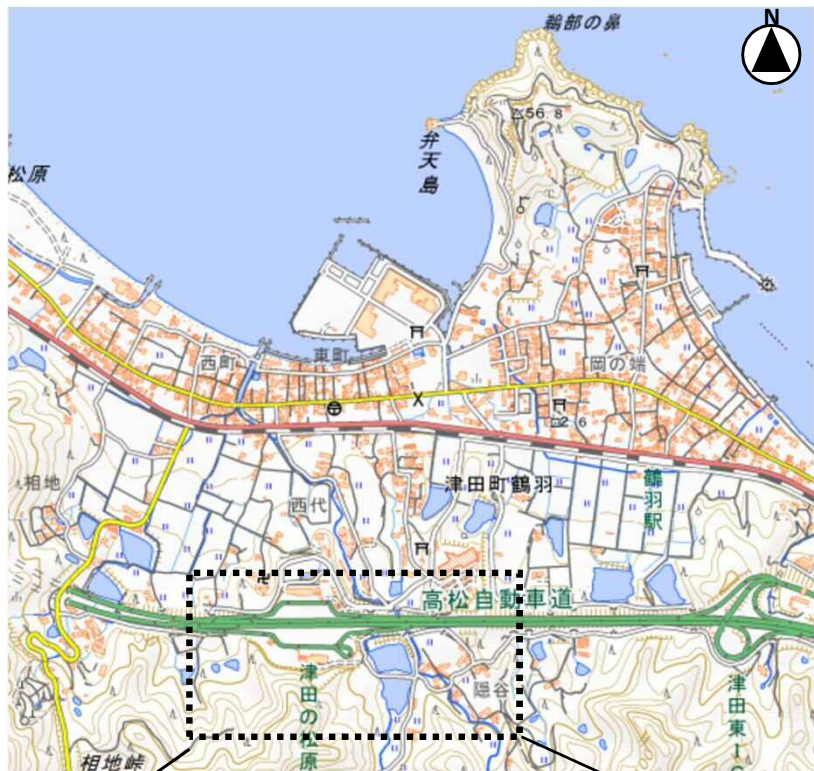
事後評価書参考資料

■ 事後評価（社会資本総合整備計画）

高速道路の休憩施設を拠点とした地域の活性化、
賑わいの再生づくり

さぬき市

位置図

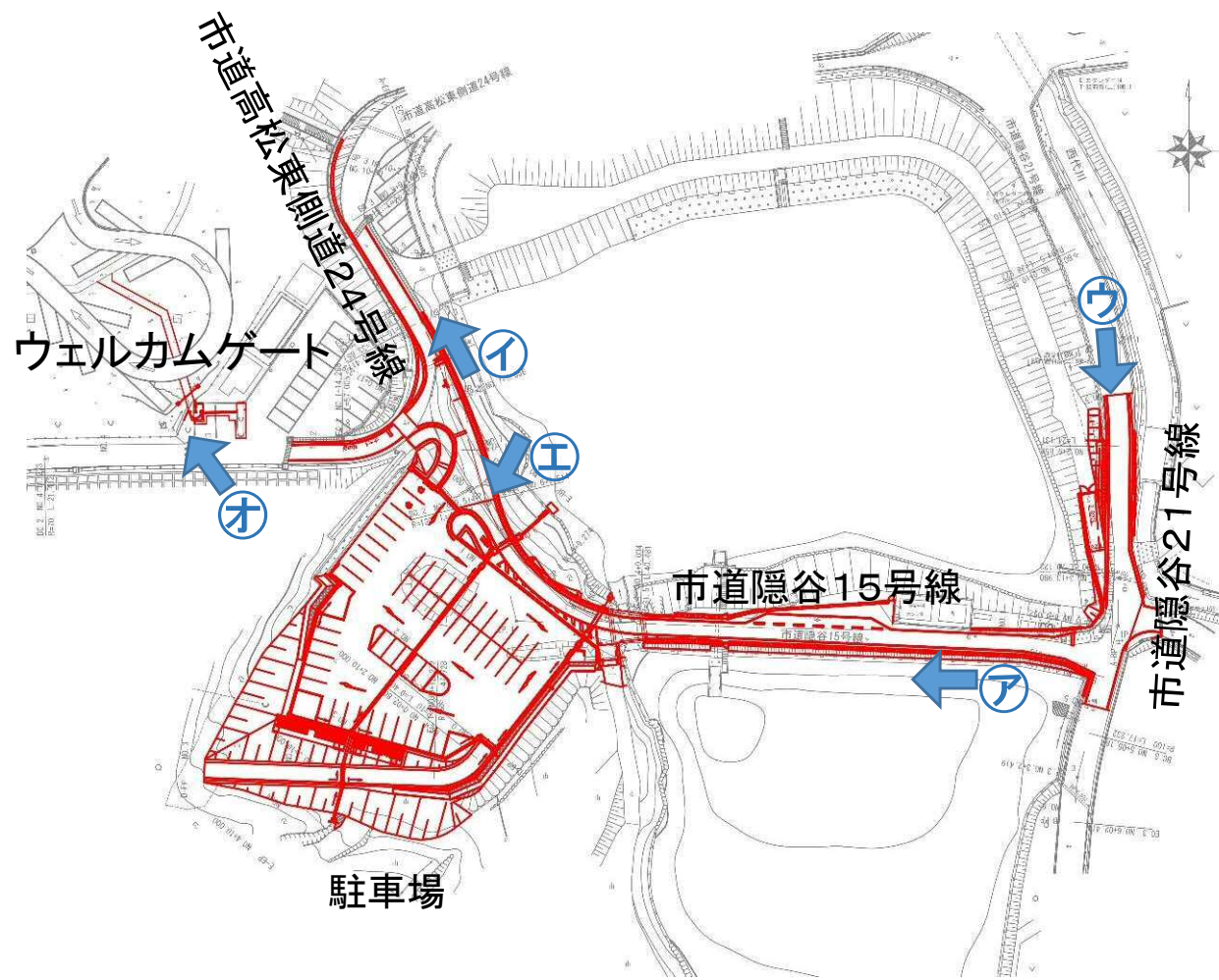


(拡大図)



地図出典: 国土地理院ウェブサイト加工して作成

平面図



事業概要



㍿市道隠谷15号線 L=170.8m



㊦市道高松東側道24号線 L=24.6m



㊧市道隠谷21号線 L=60.0m



㊨駐車場整備



㊩ウェルカムゲート設置



サービスエリア施設利用状況